

## 初動対応

- ・国総研は、地震発生（9月6日3時7分頃）と同時に非常体制に入り、同日6時15分から第1回災害対策本部会議、9時10分から第2回同会議を開催。被害状況や本省からの要請等に関する情報を共有し、速やかに専門家の派遣を行う体制を固めた。
- ・同日、北海道からの要請に基づき、大規模な土砂崩れが発生した勇払郡厚真町へ土砂災害の専門家を派遣し、ヘリコプターによる上空からの調査及び現地調査を実施。二次災害の防止等に関する対応等について、技術的助言を行った。
- ・10日には、札幌市清田区で発生した下水道、道路、建築物の液状化被害等に関して、土木研究所、建築研究所とともに専門家を派遣し、被害状況調査を実施した。



災害対策本部会議の状況(9月6日)

## 土砂災害分野の活動状況<緊急支援活動>

- ・北海道胆振東部地震による土砂崩れに関して、北海道からの要請に基づき、二次災害防止への対応等についての技術的助言を行うため、9月6日、土木研究所とともに土砂災害の専門家（TEC-FORCE高度技術指導班）を派遣し、被災状況等を調査した。



ヘリコプターからの崩壊箇所調査(9月6日)



崩壊箇所の現地調査(9月7日)



ヘリコプターから確認した斜面崩壊(9月6日)



崩壊箇所の現地調査(9月9日)

## 液状化被害に関する活動状況<緊急支援活動>

- 札幌市清田区で発生した下水道、道路、建築物の液状化被害等に関して、9月10日、土木研究所及び建築研究所とともに、専門家からなる調査団を派遣し、被害状況等を調査した。



現地調査の状況(9月10日)

## 建築分野の活動状況<緊急支援活動>

- 北海道胆振東部地震で発生した建築物被害に関して、9月11日、北海道立総合研究機構、建築研究所とともに専門家を派遣し、被害状況等を調査した。



現地調査の状況(9月11日)



マスコミからの取材の状況(9月11日)



建築物被害の状況①(9月11日)



建築物被害の状況②(9月11日)